



未来に向けて どう生きてゆくべきか

京都廣川書店
代表取締役 廣川重男

0 将来何になりたいですか？

- 1 ・ 薬剤師
- 2 ・ 企業（製薬会社とか）
- 3 ・ 公務員
- 4 ・ 研究者
- 5 ・ その他

お話しを聞いて頂く前に…

- これからするお話は、薬剤師さんについて、僕が感じたこと、思ったことを包み隠さず纏めたものです
- ショッキングかもしれないけど全部、本当のお話です
- もちろん頑張っている、もがいている、立派な薬剤師さんも少なからずいます。でも、その数は多くありません。
- この話をキッカケに皆さんの将来について考えてもらえれば幸いです

1 クスリの世界に飛び込んで 驚いたこと

- 1 ・ 薬剤師は名刺を持っていない
- 2 ・ 薬局以外で薬剤師に会わない
- 3 ・ 薬剤師の給料が安い
- 4 ・ 薬剤師は本を買わない

2 薬剤師は名刺を持っていない

- 名前をもった特定の個人でなくていい
鈴木さん、田中さん、高橋さん、でなくていい
- つまり誰でもいい
- もしくは、人と関わらないので名刺はいらない
- 名刺も持っていない人達に初めて会った！

3 薬局以外で薬剤師に会わない

末期がんの患者の家族として感じたこと

〈病院〉

- 医師・看護師・リハ・牧師には会ったけど
薬剤師はついに病室に来なかった
- 出棺の見送りに来てくれたのは、
医師・看護師・リハ・牧師・葬儀屋さんだけ

3 薬局以外で薬剤師に会わない

末期がんの患者の家族として感じたこと

〈在宅〉

- 医師・看護師は患者を取り合うように積極的に接してくれた
「最後まで私が責任を持ちます！」
「廣川さんは私の患者です！」
- 薬剤師さんは家の中に一回も入ってこなかった
これじゃ、宅配便のお兄さんと同じ…

3 薬局以外で薬剤師に会わない

- 僕たちは、医師・看護師・リハ・牧師・葬儀屋さんのことを、名前の呼んでいた
(〇〇さん、□□さん…)
- 薬剤師
 - 病室にも家の中にも入って来ないので、顔を思い浮かべることもできない
 - 名前じゃなくて薬剤師さん、って呼んでた
 - つまり誰でもいいっていうこと
 - 名刺はいらない

4 薬剤師の給料が安い

<ドラッグストア>

初任給はいいけど、そのあと上がらない

店頭にいるのは若手ばかり、中堅以上はどこにいったの？

<病院薬剤師>

給料がずーと安い

<製薬会社>

給料は高いけど、他にももっと給料が高い職業はある

僕ら文系はMRを職業として選ばない

アポイントを取れずに、玄関で立ったまま医師が出てくるのを
じっと待っているような職業は殆どない

4 薬剤師の給料が安い

- 薬学部の学費でペイできるの？
学費：1200万円（6年間）
- 薬局以外で会うことのない、
だれでもいい（替りがきく）、
現場に顔を出さない、
仕事に、
社会は価値を見出さない
→社会はお金を落とさない
→お給料は上がらない

5 薬剤師は本を買わない

医療系出版社の常識！

- 薬剤師向けの本は売れないから作るな
- 医師・看護師は勉強するから本が売れる
- 薬剤師が本を買わない
 - =勉強しなくても問題がない仕事
 - =患者や医師と、医療の最前線で“切迫感”のある仕事をしてない
 - “切迫感”がないので何となくやり過ごせる
 - 勉強しなくてもOK

* 薬剤師さんがもっと本を買ってくれば、本の値段は下がる
⇒ 皆さんの教科書も安くなるのに…

6 薬剤師が余る時代がすぐに来る

- 調剤業務 ⇒ 機械化
- 疑義照会 ⇒ コンピューター・AIで代替可
- ドラッグストア数 ⇒ 飽和
- 処方薬のネット販売

〈もし僕が巨大ネット通販会社の社長なら…〉

調剤：機械化

疑義紹介：AI

デリバリー：宅配

服薬指導：薬剤師（ネット経由）

従来の調剤業務のなかで薬剤師は殆ど要らなくなる

7 患者と病気と薬と治療 (と薬学)

＜患者と病気と薬と治療＞

- 健康→病気になった人＝患者
- 正常な状態→バランスを崩す＝病気
- バランスを崩した原因に、薬が働きかけて病気を治す＝治療

Key Point : 人も薬も化合物からできている

- カラダの中の、分子レベルでのバランスの崩れ＝病気
- 病気の原因に、薬が分子レベルで働きかける＝治療

7 (患者と) 病気と薬と治療と薬学

〈これを理解するために、薬学で学ぶ科目〉

- 分子レベル：物理化学、有機化学、生化学、医薬品化学
- 生体の機能：生化学、生理学、機能形態学
- 生体と薬の関係：薬理学
- 治療：薬物治療学、症例検討
- 実践：法規、安全性学、統計、医薬品情報、医療経済

*** 患者を支える・助ける意識が希薄じゃない？**

8 他の医療人に無く 薬剤師だけが持っている武器

- それはズバリ

「物質科学者として、人を薬の関係を紐解く力」！

カラダも薬も化合物の集まり

病気＝体内化合物の分子レベルでのバランスの崩れ

薬物治療＝薬が、バランスを崩した体内化合物に働きかけて、
バランスの崩れを正す

- 生体と薬の関係を「物質科学」として理解できる人材＝**薬剤師**
- でも何%の薬剤師さんこの意識を持ってるんだろう…？
- だいたい、薬学部では「臨床に向けた統合的な物質科学」を教える講義も演習も殆どない…

9 薬剤師を取り巻く問題点

- 現場に出ようとしないので、出なくても済むので、職種として認識されていない
- 絶対の武器である物質科学の重要性を理解していない、使い切れていない
 - 勉強しなくても何とかなるし…
 - でも他の医療人と差別化できないなら、医療現場には不要じゃない？

10 ネガティブな 話ばかりでしたが…

ネガティブな話ばかりでごめんなさい

でも、これが事実であり、現実です

じゃ、どうすればいいの？

1 1 未来に向けてた 薬剤師業務の在るべき姿

＜従来の考え方＞

処方箋（紙）→ 疑義照会・調剤・服薬指導
（まず紙ありき…）

＜これからの考え方＞

患者とその家族の**生活を支える**ために何をすべきか

- 1・主役は患者とその家族
- 2・現場に出向く、現場で信頼を得る
- 3・まずケア、それから治療、の気持ち
- 4・物質科学をベースしたケアと治療の実践

薬学では、**生活を支える**ための「強い気持ちを持つ」教育と、
「臨床に向けた統合型物質科学」の教育を行っていなかった…

1 2 ネガティブな環境を

変えるために、すべきことは！

- 患者さんやその家族、お医者さん、看護師さん、ケアや医療に関係する人々の中に、飛び込んでみよう！そして、彼らと一緒に悩もう！
- その上で、自分に何が出来るのか、死ぬほど考えて、行動してみよう！
- 始めは結果が出ないかもしれないけど、頑張ってそれを続けて行けば、みんなが認めてくれる、信じてくれる

1 3 薬剤師が持つべき意識と在るべき姿 (まとめ)

1 現場に、冷や汗をかきながら踏み留まる力 (使命感)

患者やその家族、医師、看護師たちと話そう！悩もう！
薬剤師、現場に出てこ～い！

2 患者と家族の生活を支える (ケア ⊃ 治療 の意識)

まず、ケア！

病気が治らないこともたくさんある、治らないことの方が多い
患者とその家族の生活を支えることが最優先
その次に治療！

3 現場でおこる問題（生体と薬の間におこる問題）を、 サイエンスを用いて解決しようとする意識 (研究心)

科学を根底にした問題解決へのアプローチ

相手が心を持った患者とその家族だっていうことを忘れないで！

* これって薬剤師さんだけでなく、仕事ができるといわれるような人が
持っている共通した意識じゃない…

14 まとめ

- どんな世界でも、まず「**信頼**」が大切
- 自分で考えて、動き続ける
社会が評価し、「**信頼**」してくれば、
お金も落ちてきます
- **Give & Take** は **Give** が先！
まず自分から動く、**Take & Give** は無い！
- そうすれば絶対、薬剤師さん達の
明るい未来が広がります

僕たちは、頑張ってくれる薬剤師さんが一人でも
多く出て欲しいと思って本を創っています！



**いっしょに頑張りましょう！
期待しています！**